

ATI認定 樹護士®アーボリスト®第1次審査 エバユエイター 評価採点票

受験者氏名	NAME (ローマ字記載 姓名)	性別	血液型
電話番号	住所		
携帯電話 緊急連絡先	続柄 ()		
エバユエイター1 氏名	エバユエイター2 氏名	日時 DATE	/ /
試験会場	住所		

エバユエイター&受験者 事前確認 重要事項 (この評価採点票は公開されています)

- ・「樹護士アーボリスト」認定審査は、アーボリストの名を冠するにふさわしい専門職人としての基本的スキルを評価認定するものです。高木管理の現場作業において使用するギア類の適切な取捨選択、フィールド計画と設計、チーム作業の連携と安全、適切なクライミングおよびワークポジショニング、そしてリギング技術の基本スキルについて評価を行い認定します。
- ・この認定のための評価は、得点数だけで合否を決める通常の実技試験とはやや異なり、アーボリストの現場実践に必要な基本的スキルの理解度や修得度を各セクションの試技の総合評価として認定するものです。エバユエイターは受験者に対する質問などを併せて評価を行っていきます。認定評価される内容と課題は事前に細かく提示されています。
- ・受験者は評価エバユエイターからの質問や指示ある時は自らの試技について追加説明したり実技の修正ができなくてはなりません。
- ・評価エバユエイターは受験者が、事前にこの認定審査の「目的」と「内容」を十分に理解していることを確認します。実際の現場作業を想定した各セクションでは、アーボリストとしてふさわしい適切な現場仕事の遂行を想定した課題が与えられます。
- ・チャンピオンシップ競技時の採点基準とは異なります。また「マスターアーボリスト」など熟練技術を身につけたレベル認定ではなく、基本に則ったベストプラクティスの遂行を評価認定します。
- ・受験者に不明な点がないよう、セクション開始事前に質問を受けつけます。
- ・評価エバユエイターは、受験者の要請ある時に必要に応じてGWT役としてチーム作業としての補佐をすることがあります。
- ・評価エバユエイターは、受験者の試技や説明が不十分である場合には、再質問などを行い、それでも改善が見込めない場合には、該当の項目について「警告注意」を与え、または各評価項目の可否を評価します。
- ・致命的なミスまたは累積の警告注意や未達成項目がある時には、「失格」となります。原則として各セクション毎に「警告注意」3回で「失格」となります。各セクションごとに「合格」または「失格」の認定評価を行い、「失格」のセクションについては後日の再受験とします。再受験となる場合も受験者は要改善の項目と内容を評価エバユエイター(以下 エバユエイター)から詳しく伝えられます。
- ・TW/CSの既認定資格ある者が実技評価を受ける場合は、カッティングとリギングに該当するセクションに限定して評価認定が行われます。
- ・基礎を学び、現場実践を反復し、全てのセクションで評価認定に合格した者は、認定「樹護士アーボリスト」の称号を冠して業務遂行にあたることが認められます。

総合評価 (1~4 各セクション結果)

1.ギアの準備	失格	合格
2.スローラインセッティング	失格	合格
3.ハンドソー カッティング	失格	合格
4.インスペクション(精査)	失格	合格
エバユエイター総合評価	失格	合格

コメント

1. ギアの準備

このセクションでは、現場作業におけるワークプランに基づき、使用する適格なギア類の取捨選択と準備、点検や整備のスキル、および基本となるクライミングシステムについての評価認定を行います。各項目の実技所要制限時間については都度指示します。
受験生はあらかじめ当日のワーククライミングフィールドを視察し、試技としての課題内容について説明を受けます。これによりワークプランを想定して、必要なギアを自ら選択判断して説明を行います。

【受験者が用意するもの】
全セクションの試技に使用するすべてのギアおよびPPE

【エバユエイターが事前に準備するもの】
・ギアの準備に先立って、セクション5および6 ワーククライミングフィールドの設定をし事前説明を行う。
・クライミングチェックのため、MRSが容易に設置可能なアンカーポイントにスローラインを準備する。

※下記のギア数量は、最低必要数となり、パスしないギアがある場合は次へ進めません。

エバユエイターが評価する内容と要点	評価項目	ギアの内容確認	ギアの点検と説明
ギアの準備	1. クライミング用ヘルメット 1個	Pass / Fail	Pass / Fail
1.持参したギアの名称と内容確認 エバユエイターは受験者に対し必要な装備についての以下の指示と説明を行います。 「必要なギア(右記)をすべて持参していますか?ギアの名称とともに提示してください。すべてのギア類は、ISAまたはATIが標準として要求する性能および安全基準をクリアしていなければなりません。」	2. セーフティグラスまたはアイプロテクション 1個	P / F	P / F
【その他】 右記以外にも受験生が試技に必要なとすることがあれば持参して使用を申請することができます。 ・項目11以降のリギングギアについては「Art Science of Practical Rigging」(英語版ISA発行) P72、または「ISA公認テキスト アーポリスト必携 リギングの科学と実践(日本語版) P83を一例として参考にしてください。但し受験生の試技は必ずしもテキスト同様の設定である必要はありません。	3. 樹上作業に適した作業靴 1足	P / F	P / F
2.個々ギアの点検と説明 ギアインスペクション: エバユエイターは受験者に対し持参した装備についてさらに以下の説明を求めます。 「使用するギアについての点検時のポイント、強度、使用方法や使用目的等を口頭で説明してください。その際、ライフサポートのものとしてでないものの区別については特に明確にしてください。また、個々のギアに軽微な摩耗や傷または汚れなどがある場合には、それを使用可能と判断する理由を説明してください。ギアのインスペクションの中で誤った説明があっても、ギアインスペクション完了の前に自ら誤認に気がついて修正追加の説明ができれば評価認定されます。」	4. MRSツリークライミング用ロープ 2本 (2つの異なるヒッチシステムが作成できること)	P / F	P / F
※ギアチェックに先立ちワーククライミングフィールドにおいて試技課題の説明をします。	5. フリクションセーバー類 2個以上	P / F	P / F
【警告注意について】 ・各セクション毎に、累積3回の警告注意を受けると「失格」となり、当該項目について、認定評価を継続できません。 ・いずれかのシステムが完成できずクライミングできない状態と判断された場合は、累積の警告回数に関わらず失格となり認定評価は継続できません。 ・ライフサポート用のギア類で明らかな危険性や著しい汚れが認められる場合には、1つのギアに対して警告注意1回となります。当該ギアの使用は認められません。 ・ギア類の評価に疑念が残る場合、または持参し忘れたものがある場合は、一つに限りエバユエイターから借りることが認められますが、警告注意1回となります。 ・受験者はクライミングシステムの「オープン」と「クローズド」両MRS(DRT)クライミングヒッチを完成するギアを持参してください。 ・いずれかのシステムが完成できずクライミングできない状態と判断された場合は、累積の警告回数に関わらず失格となり認定評価は継続できません。	6. 樹上作業に適したクライミングサドル 1個	P / F	P / F
・各セクション毎に、累積3回の警告注意を受けると「失格」となり、当該項目について、認定評価を継続できません。 ・いずれかのシステムが完成できずクライミングできない状態と判断された場合は、累積の警告回数に関わらず失格となり認定評価は継続できません。	7. ハンドソー(鞘入り) 1本	P / F	P / F
・各セクション毎に、累積3回の警告注意を受けると「失格」となり、当該項目について、認定評価を継続できません。 ・いずれかのシステムが完成できずクライミングできない状態と判断された場合は、累積の警告回数に関わらず失格となり認定評価は継続できません。	8. オートロックカラビナ 6個 (3アクション2ロック以上)	P / F	P / F
・各セクション毎に、累積3回の警告注意を受けると「失格」となり、当該項目について、認定評価を継続できません。 ・いずれかのシステムが完成できずクライミングできない状態と判断された場合は、累積の警告回数に関わらず失格となり認定評価は継続できません。	9. セーフティ・ランヤード 1セット	P / F	P / F
・各セクション毎に、累積3回の警告注意を受けると「失格」となり、当該項目について、認定評価を継続できません。 ・いずれかのシステムが完成できずクライミングできない状態と判断された場合は、累積の警告回数に関わらず失格となり認定評価は継続できません。	10. クライミング用Eye to Eye フリクションコード 1本	P / F	P / F
・各セクション毎に、累積3回の警告注意を受けると「失格」となり、当該項目について、認定評価を継続できません。 ・いずれかのシステムが完成できずクライミングできない状態と判断された場合は、累積の警告回数に関わらず失格となり認定評価は継続できません。	11. リギング用スチールカラビナ 2個	P / F	P / F
・各セクション毎に、累積3回の警告注意を受けると「失格」となり、当該項目について、認定評価を継続できません。 ・いずれかのシステムが完成できずクライミングできない状態と判断された場合は、累積の警告回数に関わらず失格となり認定評価は継続できません。	12. リギングスリング 2本 (デッドアイスリング、またはウーピー、ルーピースリング) (内1本はデッドアイスリングであること)	P / F	P / F
・各セクション毎に、累積3回の警告注意を受けると「失格」となり、当該項目について、認定評価を継続できません。 ・いずれかのシステムが完成できずクライミングできない状態と判断された場合は、累積の警告回数に関わらず失格となり認定評価は継続できません。	13. リギングブロック 1/2 inchロープ適応 2個	P / F	P / F
・各セクション毎に、累積3回の警告注意を受けると「失格」となり、当該項目について、認定評価を継続できません。 ・いずれかのシステムが完成できずクライミングできない状態と判断された場合は、累積の警告回数に関わらず失格となり認定評価は継続できません。	14. ローワリングデバイス 1個 (リガー、ポータラップ、RC等)	P / F	P / F
・各セクション毎に、累積3回の警告注意を受けると「失格」となり、当該項目について、認定評価を継続できません。 ・いずれかのシステムが完成できずクライミングできない状態と判断された場合は、累積の警告回数に関わらず失格となり認定評価は継続できません。	15. リギング用ロープ 1/2 inch 120ft 以上 1本	P / F	P / F
・各セクション毎に、累積3回の警告注意を受けると「失格」となり、当該項目について、認定評価を継続できません。 ・いずれかのシステムが完成できずクライミングできない状態と判断された場合は、累積の警告回数に関わらず失格となり認定評価は継続できません。	16. アジャスタブルバランシング用ロープ またはスリング 1本	P / F	P / F
・各セクション毎に、累積3回の警告注意を受けると「失格」となり、当該項目について、認定評価を継続できません。 ・いずれかのシステムが完成できずクライミングできない状態と判断された場合は、累積の警告回数に関わらず失格となり認定評価は継続できません。	17. タグライン 1本	P / F	P / F
・各セクション毎に、累積3回の警告注意を受けると「失格」となり、当該項目について、認定評価を継続できません。 ・いずれかのシステムが完成できずクライミングできない状態と判断された場合は、累積の警告回数に関わらず失格となり認定評価は継続できません。	18. Eye to Eye リギングプルージックコード 1本	P / F	P / F
	19. その他クライミングに必要な任意のギア類	P / F	P / F
	20. その他リギングに際しバランスを保って降ろすために必要と思われる任意のギア類 (アジャスタブルバランシングが必ずできること)	P / F	P / F
	セクション合否結果		
	セクション 1. このセクションの結果	失 格	合 格

3. ハンドソー カutting

このセクションでは、受験生が枝のカuttingにおける数種類の基本動作を完遂できることを認定評価します。各項目の実技所要制限時間については都度指示いたします。

【受験者が用意するもの】
鞆に入ったハンドソー および PPE

【エバユエーターが事前に準備するもの】
このセクションでの試技は、事前に決められたアンカーポイントにスローラインを設置しておきます。受験者は自らのシステムでオンロープし、低い位置で試技を行います。腰から胸までの高さの約10～15cm径の節の少ない生木の枝を約15～30cm長さで実際に数回切断できるように固定しておきます。

エバユエーターが評価する内容と要点	評価項目	C/I	警告注意
<p>エバユエーターは受験者に対し以下の指示と説明を行います。「ドロップカットとスナップカットの違いを口頭で述べて下さい。その後、試技して下さい。」</p> <p>以下の内容と条件で評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドロップカットと mismatchカットとしてのスナップカットおよびヒンジカットの刃を入れる位置と順番は正確か。 ・安全のための手順やコールは適切か。 ・ドロップカットの場合は切断時安全性が維持され、樹木損傷が回避できているか。 ・スナップカットの場合は最後に手でスナップ（折り曲げて）して外すことができているか。 ・ヒンジカットの場合は受け口と追い口が適切でヒンジ(つる)を機能させて切断できているか。 ・1度目の試技で不十分な場合は、各カット毎に2回迄試技の機会が与えられます。 ・樹木の節や何らかの考慮すべき不利な事情がある場合には、3回目の機会が与えられることがあります。 ・エバユエーターはカットの長さ(切断箇所)を都度指示します。(1回のカットは約15～30cm程度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドロップカットとスナップカットの違いの口頭説明 	<p>Complete Incomplete</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ mismatchカット 	<p>Complete Incomplete</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヒンジカット 	<p>Complete Incomplete</p>	
	警告注意の回数	回	セクション合否結果
	セクション3. このセクションの結果	失 格	合 格

4. インスペクション（精査）

このセクションでは、樹木作業に臨む際の樹木およびフィールドのインスペクションの理解を評価認定します。樹木およびフィールドの精査点検と説明は10分以内で行ってください。

【受験者が用意するもの】

- ・インスペクションとプランニングの為に手許メモを作成する準備をします。ヘルメットを着用。

【エバユエイターが事前に準備するもの】

- ・樹木とフィールドの双方のインスペクションを想定します。

エバユエイターが評価する内容と要点	評価項目	C/I	警告注意
<p>エバユエイターは、事前に対象樹木と想定する作業内容を伝えます。危険な枯れ枝があることを仮定し、その枝を降ろすことを作業目的として伝えます。</p> <p>「現場の樹木およびフィールドのインスペクション（精査）を行い説明して下さい。仕事で使用している作業計画チェックシートなどがあればそれを使用して説明することもできます。メモなどを作成しても構いません。」</p> <p>・受験者が、次の項目を網羅して樹木と周辺環境の精査をすること求めます。地上の支障物、樹上空間の障害物、主幹や樹冠の様子、樹木全体の構造や安定性、電線などの要素を含みます。</p>	・電気施設や電線の配置などの確認	Complete Incomplete	
	・地上支障物 / 空間支障物の確認	Complete Incomplete	
	・木の構造的特性 / 安定性の確認	Complete Incomplete	
警告注意の回数 回		セクション合否結果	
セクション4. このセクションの結果		失 格	合 格